

南魚沼市に暮らすしあわせ

移住・定住促進に関する情報や、実際の移住者の声をお届けします

【問合せ】 地方創生推進室 ☎773-6659

南魚沼市の魅力にひかれて、実際に移り住まれた人の声を紹介します。

移住したみなさんの声 (第5回)

加藤勝紀さん、山崎春佳さん〔2人とも市職員〕

市役所でも、県内外から南魚沼市に移住し活躍する職員が増えてきました。そこで、今回は県外から移住してきた2人の市職員を紹介し、それぞれに考え方は違いますが、「この地に来たかった」「この地に住みたかった」という思いや、移住したきっかけなどを紹介します。

Q 簡単な経歴と今の仕事について教えてください。

A 加藤 出身は東京都です。高等専門学校卒業後に南魚沼市職員として採用され、平成24年度から農林課に勤務しています。主に林道の開設と林業関係を担当しています。白いおにぎりを持って行き、ここで食べたなら最高だなという現場が南魚沼にはたくさんあります。



A 山崎 出身は長野県です。大学卒業後に民間企業に勤めた後、今年度から商工観光課に勤務しています。企業誘致、企業紹介、地域産業関係を主に担当しています。まだ世間に知られていないその企業にしかない技術などを見つけ出し紹介することで、この地の魅力を感じてもらい、勤めてくれる人が増えてくれれば良いと考えています。

Q 就職先として南魚沼市を選んだ理由を教えてください。

A 加藤 ずばり、お米です。学生のころにちょっとした自分へのごほうびとして、高価なお米を食べたら、すごくおいしくて衝撃を受けました。就職では、普段からうまいお米を食べることができる場所に住みたいと思いました。そこで、首都圏からの交通の便のよさ、日本一のコシヒカリの産地ということで南魚沼市に決めました。

A 山崎 南魚沼で先進的な研究をしている企業があったことと、天地人の放送を見てこの地に興味を持ったことがきっかけです。国際大学があることもあって、国内だけでなく世界各国の人も集まる、とてもおもしろく、多くの可能性を持つ地域だと思います。一度ここに住み、別な場所へ引っ越しましたが、そんな魅力から戻って来ました。

Q 南魚沼市で暮らす魅力を教えてください。

A 加藤 なんといっても、うまいお米がすぐに手に入ることですね。市内各地域のお米を食べることができるので、育った場所によって炊き上がりの「つや」などに違いがあるのも楽しいです。地域性では、気さくな人が多いなと感じています。人と人のつながりが強いというか、個々の人脈が広い印象もあります。

A 山崎 ここに来てすぐに、外の人を受け入れる温かみがあると感じました。その温かみがあるから、今この地にいるといった感じです。助け合いの精神も感じます。それと、やはり景色がすごくきれいですね。八箇峠から下ってくる時に飛び込んでくる景色は最高です。田園もすごくきれいで、キャンプ場やバーベキューができる場所も充実していて気に入っています。

Q 雪はどのように感じますか？

A 加藤 雪がすごいという状況を分からないまま移り住みました。それくらい雪には縁がなかったので、住んでみてすごいなと感じています。降り続く時は大変ですが、それも一時なので不便は感じていません。

A 山崎 雪は辛いですね。だけど、雪が降らない地域に住む人がすごく楽しそうに雪を投げたり、触れたりしているのを見ると、雪って楽しい面もあるのかなと思っています。

A 加藤・山崎 雪があるからこそ、春がすごく楽しみになります。季節をはっきりと感じられていいですね。

移住者受入トップランナー支援事業(事前申込み不要)

日時 11月6日(日) 13:30～16:00

場所 南魚沼市図書館 多目的室

内容 講演「地域で移住者を受け入れる意義」、
移住者トークセッション「移住者と受入地域の本音」

第2回若者まちづくり会議

日時 11月12日(土) 14:00～17:00

場所 ふれ愛支援センター2階 多目的ホール

定員 40人(市内在住・在勤者)

申込み 地方創生推進室 [☎773-6659]